

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年 12月 27日

事業所名: 創伸館 放課後デイ 武庫之荘

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	整理整頓をし、利用者に不便がないように心がけている。学習スペースとプレイルームを分け、利用者に応じて過ごせる場所を提供している。	はい: 12 どちらとも: 0 いいえ: 0 わからない: 0		保護者からは広々としていて良いという評価をもらっている。子供たちが過ごす中で、十分なスペースを確保しつつ、さらに過ごしやすい環境を作っていく。
	2	職員の適切な配置	常勤3名、児童指導員3名体制で運営している	はい: 9 どちらとも: 1 いいえ: 0 わからない: 2		スタッフだけの写真は無理があったので、保護者に知らせる方法を検討中。インスタを開始し、普段の活動を見てもらうことができるようにした
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	扉を入れてから、靴箱、ロッカー、手洗い場と同線を明確に確保している。その日に特別なイベントがある場合は中央のホワイトボードに記入し、直接指導員から利用者伝えていく。	はい: 10 どちらとも: 0 いいえ: 0 わからない: 2		利用前の見学時に、過ごす空間などの詳しい説明などを行っておくとより良いと思う。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃・整理整頓 コロナ禍での消毒を行っている。	はい: 10 どちらとも: 2 いいえ: 0 わからない: 0		利用時間の最後に、児童と指導員で教室内の清掃をしている。その時に手が回らない箇所は指導員が常時清掃している(トイレなど)
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	普段からの利用者についての情報交換・伝達を行い、支援者が情報を共有するように心がけている。また、週1回ミーティングを行い、教室運営や月の行事についての話し合い等も行っている。	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		保護者からの相談等もリアルタイムで細かく共有していけるようにしている。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		現在、予定していない
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	動画による同じ内容の研修を各自で行っている	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		配置人数に余裕ができれば、外部研修も検討
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に1回、保護者の方と懇談をし、支援計画の見直しを行っている。また、普段から支援者と情報共有を行い、支援の実施方法の変更など、細かい部分もその都度調整している。	はい: 9 どちらとも: 3 いいえ: 0 わからない: 0		保護者だけでなく、利用者本人へもアンケートを実施していく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者の性格等を考慮しながら、1日の利用の中で個別の支援と集団支援両方を必ず実施している。	はい: 9 どちらとも: 3 いいえ: 0 わからない: 0		サービス計画は全指導員と共有しており、利用者のその日の様子も考慮しながら、サービスを実施している。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	当事業所で行う具体的なサービスを記入し、保護者にも伝えている。また、行った内容なども文章や写真で連絡も行っている。	はい: 9 どちらとも: 3 いいえ: 0 わからない: 0		今よりも保護者に向けて、実施したサービスの現状報告等を行う。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	短期目標を軸に、スモールステップで支援を実施している。	はい: 7 どちらとも: 3 いいえ: 0 わからない: 2		このまま継続していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	新たなプログラムを実施する際は、計画書を作成し、複数の指導員と児発管で検討している。	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		体験的なプログラムは保護者からも支持を受けている。今後も新たなものを導入していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は普段の継続的な療育を行い、長期休みなど、利用時間が長くなる際に、イベント等の集団活動を実施している。	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		今後も、利用者が満足する支援を検討していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別支援に関しては、継続したプログラムを実施している。集団支援に関しては、季節の変化に合わせた内容や、利用者の興味関心に合わせて実施している。	はい: 8 どちらとも: 1 いいえ: 0 わからない: 3		今後も、利用者が満足する支援を検討し、工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	週ごとに担当表を作成し、1週間の見通しを持ったうえで、1日ごとに臨機応変に役割を分担している。	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		今後も業務が増えてくるのが予想されるが、ひとところに偏らないよう、分担していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、短時間であるが、問題点、良かった点、気になった点の情報共有をしている	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		必要なことに関しては、記録だけでなく、支援計画書類にも記入し、残していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	その日実施したことや気になった点はその日のうちに記録に残している。また、共通理解しておいた方が良い内容については児発管が吸い上げ、全スタッフに共有している。	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		保護者から聞いた困り感や要望もすぐに反映できるよう心掛けている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	日々の様子から、最終の1か月をかけて、次の個別支援計画を作成している。	はい: どちらとも: いいえ: わからない:		普段の会話や様子、支援計画の達成度も踏まえて支援計画・支援につなげていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業者からの呼びかけで、ケース会議に参加している	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		今後もケース会議にはできる限り参加する	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		はい： どちらとも： いいえ： わからない：			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		はい： どちらとも： いいえ： わからない：			
関係機関との連携	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業者、保護者からの呼びかけで、学校の担任、教頭等と情報共有している	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		学校とも綿密な連携を望まれている保護者が多い。当事業所からも、電話または直接足を運び情報共有をしている。	
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	学校との連携は常に行っているが、当施設から申し渡すことはまだケースがない	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		今後は、中学校や高校卒業後も関わっていただけるよう、相談支援事業所や就労支援事業所などと面識を増やしていきたい。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ禍のため、参加はしていない	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		必要と感じた研修については積極的に参加する	
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	併設している放課後児童クラブとイベントを通して活動交流している	はい：7 どちらとも：0 いいえ：2 わからない：3		保護者の方からも支持をいただいているため、今後も継続していきたい。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍のため、参加はしていない	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		世情を見ながら参加するようにしたい。	
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時や初回の利用時に事業所で現在行っていることや、利用者負担について説明している。	はい：11 どちらとも：1 いいえ：0 わからない：0		説明不足だった場合は、再度連絡をとり、その都度丁寧に伝えている。
		2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	随時、来所もしくは電話で説明をしている。	はい：11 どちらとも：0 いいえ：0 わからない：1		保護者が忙しく対応が難しい場合は、面談時に当事業所でのサービス計画を説明している。
		3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談や、こちらから家庭の協力が必要を感じた場合、連絡をとり支援方法などを共有している。	はい：3 どちらとも：2 いいえ：2 わからない：5		保護者からの相談には随時対応できている。今後も取り組んでいく。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		様子で気になったことは随時報告している。保護者からも、要望や気になることは連絡をもらい、情報の共有を行っている。	はい：7 どちらとも：3 いいえ：2 わからない：0		児発管だけの情報だけでなく、スタッフ同士でコミュニケーションをとることで、よりリアルタイムの子供の発達状況を共有していく。	
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		保護者からの相談に対して、その都度話を聞き、対応している。保護者の立場に立った助言を意識している。	はい：8 どちらとも：4 いいえ：0 わからない：0		保護者からの許可があれば、内容を全スタッフと共有し、複数の目で利用者を支援できるようにしている。	
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		父母会は実施していない。	はい：1 どちらとも：1 いいえ：6 わからない：4		父母会は予定していない、各家庭別に懇談会を実施している。	
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		今現在で苦情などは無い。これからも「苦情が無い」ことを大前提とし、あった時には迅速に対応していく。	はい：7 どちらとも：3 いいえ：0 わからない：2		普段の連絡にラインを使い、素早く対応できるようにしている。	
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		日々の連絡は、メールや電話で対応している。保護者からの要望や、必要だと感じた場合は面談を行っている。	はい：8 どちらとも：4 いいえ：0 わからない：0		文書を要望される保護者の方もいるため、今後どのような形で可能か考えていきたい。	
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		不定期ではあるが「武庫之荘だより」として利用者の様子を知らせている。また、普段の様子もインスタグラムを活用し、週1回で日々の様子を知らせている。	はい：5 どちらとも：5 いいえ：1 わからない：1		このまま継続していく。	
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		鍵のついた書庫で管理している	はい：8 どちらとも：1 いいえ：0 わからない：3			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	簡素化したものを重要事項説明書に載せている。事業所内では、緊急時対応マニュアル等を作成し、保管している。	はい：3 どちらとも：3 いいえ：3 わからない：3	コロナの感染症の児童が出たときには、教えてほしい。	感染症に関してはハンドソープ、消毒液、アルコール除菌シートを設置し手指の消毒を促している。空気清浄機、加湿器も設置した。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	土曜日開所や、長期休みなど、時間に余裕がある時期に利用者と実施している。それ以外の時期には、スタッフ同士で避難経路の確認などを行っている。	はい：2 どちらとも：2 いいえ：1 わからない：7		このまま継続していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	新入社員研修では、虐待防止の研修を行った。他の事業所等での事例があれば、その都度、全スタッフと共有している。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		事例の共有だけでなく、その事例を元に研修を行うことも考えていきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時必ず説明をしている 現在まで該当者はいない	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		契約時、面談時に確認する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始時にアレルギーの報告をもらっている	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		放デイで飲食物を使うイベント等を行う際は、必ず事前に提出してもらっている報告書を確認している。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	報告書を随時作成し、データとして他の校舎にも送信して共有している。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		ヒヤリハットの事例を元に、スタッフと共有だけでなく、研修としてもおこなってきたい。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	普段の保護者の方との会話からは、当事業所に来ることを楽しみにしているという言葉がたくさんいただいている。	はい：10 どちらとも：2 いいえ：0 わからない：0		これからも、利用者を第一に考え、保護者のニーズも取り入れながら、「楽しい」「来たい」と思ってもらえるよう運営をしていく。
	2	事業所の支援に満足しているか	当事業所自体が、運営を始めまだ2年のため、長期的な支援の成果はこれから検討になるが、短期支援においては、保護者の方との会話からは、概ね満足してもらえているよう	はい：9 どちらとも：3 いいえ：0 わからない：0		これからも、さらに満足してもらえるよう、短期・長期目標を中心に、支援の創意・工夫をおこなってきたい。